

# 第 47 回燃焼シンポジウム講演論文集原稿 (和文題目)

- 執筆要領 (和文副題) -

Manuscript for the Proceedings of the Forty-seventh Symposium (Japanese) on Combustion (English Title)

- Formatting Specification (English Sub-title) -

札幌 太郎<sup>1</sup>・京都 次郎<sup>1\*</sup>・SENDAL, Saburou<sup>2</sup>

SAPPORO, Taro<sup>1</sup>, KYOTO, Jiro<sup>1\*</sup>, SENDAI, Saburou<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 北海道大学 大学院工学研究科 〒060-8628 札幌市北区北 13 条西 8 丁目

Hokkaido University, N13W8, Sapporo, 060-8628, Japan

<sup>2</sup> 京都大学 大学院エネルギー科学研究科 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

Kyoto University, Yoshidahonmachi, Sakyou-ku, Kyoto, 606-8501, Japan

<sup>3</sup> Tohoku University, 6-6-01 Aoba, Aramaki, Aoba-ku, Sendai, 980-8579, Japan

## 1. 緒言

第 47 回燃焼シンポジウムの講演論文集原稿は、この執筆要領にしたがって御作成下さい。

## 2. 内容

シンポジウム参加者が研究の内容を十分に理解できて、討論に参加できる内容の原稿をお願いします。また、主要な研究成果は必ず原稿に記載して下さい。

## 3. 講演題目・著者

講演題目、著者（講演者、および著者順序も含む）の変更は認められておりませんので、講演申込時と同じにして下さい。

## 4. 用紙設定

原稿の余白はそれぞれ、以下の通りに設定してください。

上: 25 mm, 下: 15 mm, 左: 16 mm, 右: 16 mm

原稿の文字は必ずモノクロ（白黒）にして下さい。図（写真）はファイルの段階ではカラーでも結構ですが、そのままモノクロで印刷すると非常に見にくくなる場合があります。必ず印刷して確認してください。

## 5. 原稿ページ数

原稿のページ数は、2 ページです。超過や不足の場合には、受付せずに返却いたしますので、御注意下さい。

## 6. 印刷

提出して頂いた原稿を、そのままオフセット印刷します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- 全角 30 文字 -

## 7. 原稿書式

次の書式を基本設定として下さい。

フォントサイズ: 9 ポイント

和文フォント: 明朝体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント: Century 体またはこれに準じるフォント

行間隔または改行幅: 11 ポイント (固定)

文字間隔または字間: 標準 (Word), 1 ポイント (一太郎)

句読点は、「,」,「,」(カンマ)「.」(ピリオド)として下さい。

### 7.1 題目

和文題目は、次の書式として下さい (英文原稿は除く)。

フォントサイズ: 11 ポイント

和文フォント: ゴシック体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント: Arial 体またはこれに準じるフォント

行間隔または改行幅: 16.5 ポイント (固定)

配置: 左寄せ

副題のある場合は、和文題目の次の行に、和文副題を半角のハイフンと空白とではさみ、次の書式で記載して下さい (英文原稿は除く)。

フォントサイズ: 10 ポイント

和文フォント: ゴシック体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント: Arial 体またはこれに準じるフォント

配置: 左寄せ

英文題目は、和文題目から半行 (行間隔または改行幅: 5.5 ポイント) あけ、Main words の最初の文字のみ大文字として、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 10 ポイント

数字・欧文フォント: Arial 体またはこれに準じるフォント

配置: 左寄せ

副題のある場合は、英文題目の次の行に、英文副題の Main words の最初の文字のみ大文字として、半角のハイフンと空白とではさみ、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 9 ポイント

数字・欧文フォント: Arial 体またはこれに準じるフォント

配置: 左寄せ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

## 7.2 著者

### 7.2.1 著者名

和文著者名は、英文題目から1行あけて、次の書式で記載して下さい(英文原稿は除く)。

フォントサイズ: 9ポイント  
和文フォント: 明朝体またはこれに準じるフォント  
数字・欧文フォント: Century 体またはこれに準じるフォント  
配置: 左寄せ  
姓名の区切(和名): 半角空白  
著者間の区切: 「・」(中丸)

ただし、英文表記の著者名が含まれる場合は、その著者名は姓、名の順で、姓は全て大文字、名は最初の文字のみを大文字として、姓名の区切にはカンマと半角空白とを入れて下さい。

また、著者の所属機関を示すために各著者名の右肩に数字(半角上付、通し番号)を、著者が複数の場合には講演者を示すためにその著者名の右肩に「\*」印(半角上付)を、それぞれ付して下さい。

英文著者名は、和文著者名から半行(行間隔または改行幅: 5.5ポイント)あけて、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 8ポイント  
数字・欧文フォント: Century 体またはこれに準じるフォント  
配置: 左寄せ  
著者名: 姓, 名の順, 姓は全て大文字,  
名は最初の文字のみを大文字

姓名の区切: カンマと半角空白

著者間の区切: カンマと半角空白

また、所属機関、講演者を示すための数字、印も、和文著者名と同様に付して下さい。

### 7.2.2 著者所属機関

各著者の所属機関とその住所を、英文著者名から1行あけて、次の書式で列挙して下さい。

フォントサイズ: 8ポイント  
フォントスタイル: 斜体(イタリック)  
和文フォント: 明朝体またはこれに準じるフォント  
数字・欧文フォント: Century 体またはこれに準じるフォント  
番号: 半角上付  
配置: 左寄せ

各所属機関の間は、半行(行間隔または改行幅: 5.5ポイント)あけて下さい。所属機関名の前には、著者名に付した通し番号に対応する数字(半角上付)と半角空白とを入れて下さい。和文著者名に対応する所属機関については、初めの行に和文で、次の行に英文で、所属機関とその住所を記載して下さい。また、所属機関とその住所が2行以上とならないよう、詳細な部署、社名の「株式会社」等は、適宜省略願います。ただし、略記はお避け下さい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

## 7.3 本文

著者所属機関から1.5~2行あけて、2段組として本文を記載して下さい。

段組: 2段 段の幅: 87mm

間隔または段間: 6mm

見出しはポイントシステムにしたがい、

1. …

1.1. …

1.1.1. …

のようにして、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 9ポイント

和文フォント: ゴシック体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント: Arial 体またはこれに準じるフォント

文字間隔または字間: 標準(Word), 1ポイント(一太郎)

配置: 左寄せ

見出し後の文章は、見出しの次の行から、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 8.5ポイント

和文フォント: 明朝体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント: Century 体またはこれに準じるフォント

文字間隔または字間: 狭く0.2ポイント(Word),

または, -0.6ポイント(一太郎)

配置: 両端揃え

## 7.4 図表

図表名は英文とします。通し番号を付して(図: Fig. 1, Fig. 2, …, 表: Table 1, Table 2, …), 図の場合にはその下に、表の場合にはその上に、図表名を記載して下さい。図表の配置は、なるべく本文と同様に2段組として、本文との対応に配慮して下さい。また、本文とは1行以上あけるようにして下さい。図表(写真)を原稿に貼付する場合には、輸送中、印刷作業中に剥落しないよう十分御注意下さい。

## 7.5 文献

本文中の引用箇所では[1]のように通し番号で示し、本文末尾に通し番号とともに、対応する文献を次のように列挙して下さい(配置: 左寄せ)。

1. 著者1・著者2・著者3, 日本燃焼学会誌 49: 101-111 (2007)
2. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. Combust. Inst. 31: 1001-1008 (2007)
3. 著者名, 雑誌名 巻数: 掲載ページ(発刊年)
11. 著者1・著者2・著者3, 第44回燃焼シンポジウム講演論文集, pp.201-202 (2006)
12. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. 3rd ASPACC, pp.501-504 (2001)
13. 著者名, 書名, 掲載ページ(発刊年)

## 8. 原稿の提出

原稿の提出は、1) PDF ファイルを投稿ページ上で提出するか、2) ハードコピー及び図を貼り込んだファイルの両方を郵送または宅配便で提出して頂くか、のどちらかの方法をお願いします。以下のウェブページの注意を良く読んで、間違いの無いようにしてください。

<http://www.combustionsociety.jp/sympo47/>

締切: 2009年(平成21年)9月18日(金)(必着)

電子投稿: <http://www.combustionsociety.jp/sympo47/>

郵送宛先: 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科

機械宇宙工学専攻 内

第47回燃焼シンポジウム事務局

御質問等は、第47回燃焼シンポジウム事務局までお寄せ下さい。

(TEL: 011-706-6386 FAX: 011-706-6386)

E-mail: [sympo47@combustionsociety.jp](mailto:sympo47@combustionsociety.jp))

## 9. 原稿の返却

提出していただいた原稿は、原則として返却いたしません。